

《大阪音楽大学付属音楽院》感染予防対策について

【マンツーマンレッスン(グルーブレッスン)を受講される皆様へ】

- ・来校前に検温し発熱や風邪の症状がみられる場合は来校をお控えください。
- ※37.0度以上の発熱がある場合はレッスン受講が不可となります。当日欠席は受講料が発生する為、体調が優れない場合は、必ず前営業日の17:00までに音楽院へご連絡ください。ご連絡が17:00以降となった場合、受講料が発生します。
- ・筆記用具やハンカチ、水筒を必ず持参してください。
- ※定期的な水分補給を心がけてください。
- ・レッスン前後に必ず手洗いを行ってください。
- ・管楽器以外の受講生はレッスン中に必ずマスクまたはフェイスシールドを着用してください。
- ※マスクによる熱中症などに気をつけ、気分が悪くなった場合は必ず申し出てください。
- ※専攻の特性上、フェイスシールド等を別途ご購入いただく場合があります。
- ・受講後は速やかに帰宅してください。また通学路は住宅街を避けオペラハウス西側の幹線道路沿いを利用するなど、周辺住民への配慮をお願いします。
- ・管楽器専攻の方は、必ず水抜きを持参ください。
- ※忘れた場合はご相談ください。使用後の水抜きを捨てる場合は指定のゴミ箱に捨ててください。
- ・声楽専攻の方は、レッスン受講の際、音楽院が推奨する装備が必要です。必ず事前に装備のうえ(マスクやフェイスシールドなど)歌唱をお試ください。
- ・受講をされる場合は、音楽院が実施する対策規約全てに同意したものとします。

【学内施設・スタッフ・講師の対応】

- ・ドアノブ、飛沫防止パネル、譜面台、床等の消毒、階段手すりや共用部分の定期消毒と消毒液の設置。
- ・レッスン室、教室への消毒用次亜塩素酸水の設置。
- ・窓口における飛沫防止フィルムの設置。
- ・各館学生サロン(本校)における座席の間引き及び窓開放。
- ・全室換気扇完備、事務室内換気、レッスン室、教室の定期的な換気。
- ・出勤前に検温し、発熱、風邪の症状がある場合は勤務しない。
- ※講師都合にてレッスンが休講となる場合、レッスンは振替での案内となります。
- ・マスクの着用。
- ※管楽器のレッスンは必要な場合に応じてマスクを外す場合があります。
- ・出勤時、レッスンの前後、定期的な手洗いや消毒。
- ・飛沫防止パネルや備品などの消毒。
- ・同日に複数のレッスンを実施する場合は、レッスン前後に最短5分の換気時間を設ける。
- ・出退勤時はオペラハウ西側の幹線道路沿いを利用(周辺住民への配慮の為)。
- ・さくら夙川校における飛沫防止パネルの適宜設置。
- ・さくら夙川校は換気が十分にできるサロンにてレッスンを実施。

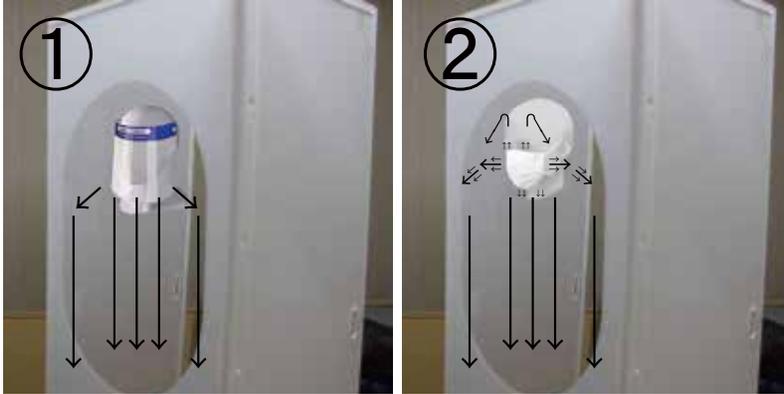
各専攻における対応策(講師・施設) ※原則マスクまたはフェイスシールドを着用

ピアノ	講師の使用するピアノと受講生が使用するピアノの間に飛沫防止パネルを設置。 ピアノ台による連弾曲は使用しません。	ソルフェージュ	飛沫防止パネルを設置。(受講生視唱時) 講師が歌唱する際はフェイスシールドを着用。 共有教材については適宜消毒。 受講生と対面しない位置関係を保ち指導。
声楽	3方向遮断パネルを設置。 マスクまたはフェイスシールドを着用。	パイプオルガン	位置関係に注意し、社会的距離を保ちレッスンを実施。 飛沫防止パネルは使用しません。
管弦打	飛沫防止パネルを設置。 管楽器の水抜きを用意し、使用後、水抜きを捨てる場合は、指定のゴミ箱に捨てます。また必要に応じて次亜塩素酸水で消毒。	電子オルガン	講師の使用する電子オルガンと受講生が使用する電子オルガンの間に飛沫防止パネルを設置。
ポピュラー	飛沫防止パネルを設置。 管楽器の水抜きを用意し、使用後、水抜きを捨てる場合は、指定のゴミ箱に捨てます。また必要に応じて次亜塩素酸水で消毒。 ※ボーカルのレッスン時、マスクまたはフェイスシールドを着用。	作曲系	飛沫防止パネルを設置。 受講生と対面しない位置関係を保ち指導。
ジャズ	飛沫防止パネルを設置。 管楽器の水抜きを用意し、使用後、水抜きを捨てる場合は、指定のゴミ箱に捨てます。また必要に応じて次亜塩素酸水で消毒。 ※ボーカルのレッスン時、マスクまたはフェイスシールドを着用。	邦楽	レッスン室は、20畳ほどある部屋(F106)の端と端に楽器をセッティング。 使用した楽器を、除菌シートで拭きます。

声楽レッスン形態について

(①フェイスシールドor②マスク)+③3方向遮断パネルでの対面(向かい合い)レッスンの実施

講師・受講生共にマスクまたはフェイスシールドを着用、3方向遮断パネルの設置、講師と受講生の間隔を最大限に保ち向かい合うレッスン形態をとります。飛沫を下に落とし、より危険を回避する目的も含む。



①②ともに微量な飛沫はありますがそのほとんどが下に落ち、受講生・講師お互いへの飛沫を防げる。

	メリット	デメリット	
 <p>フェイスシールド、ゴーグル</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 目の粘膜からの感染を防ぐ • 無意識に目や顔を触ったり、マスクと併用した際にマスク表面を触ることが少なくなる • 消毒殺菌することで再使用が可能 	<ul style="list-style-type: none"> • 小さなエアロゾルの場合、マスクを併用しても完全にウイルスの侵入を防ぐことは難しい 	
 <p>マスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ある程度の大きさのエアロゾルの侵入を防ぐ • 大きな飛沫を出しにくい • 口や鼻に直接手指が触れることが少なくなる 	<ul style="list-style-type: none"> • マスクがフィットしていない場合、効果が落ちる • マスク表面を触ってしまうなどした場合、接触感染のリスクを高める • 表情全体や口の動きが見えない 	
 <p>マウスシールド</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 表情全体や口の動きがわかり、聴覚障がい者を含めた他者とのコミュニケーションを阻害しにくい • マスクに比べて楽に呼吸ができる 	<ul style="list-style-type: none"> • 感染を防ぐことは難しい • 上部が開放されていることで呼吸や発話によって発声した小さなエアロゾルを吹き上げてしまう危険がある 	

※エアロゾル:気体中に浮遊する微小な液体または固体の粒子と周囲の気体の混合体
 ※画像引用:Yahoo! JAPAN <https://news.yahoo.co.jp/byline/ishidamasahiko/20200714-00187918/>



※画像引用:株式会社 桐原容器工業所 <http://kiriharayoki.co.jp>

《大阪音楽大学付属音楽院》感染予防対策について

音楽院事務室(本校・さくら夙川校)第一キャンパス・学生サロン



レッスン時における講師対応と飛沫防止パネル



2020年8月18日現在

※レッスンの感染予防対策は状況に応じて変更する場合があります。